



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 因幡電機産業株式会社
 コード番号 9934 URL <https://www.inaba.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 肇一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 玉垣 雅之
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-4391-1781

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	67,841	8.2	4,424	24.8	5,537	43.7	3,842	42.6
2022年3月期第1四半期	62,693	9.3	3,544	18.6	3,854	22.0	2,695	8.4

(注)包括利益 2023年3月期第1四半期 4,057百万円 (67.8%) 2022年3月期第1四半期 2,418百万円 (△27.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	69.23	68.87
2022年3月期第1四半期	48.43	48.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	228,369	142,140	61.9
2022年3月期	235,420	141,253	59.7

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 141,345百万円 2022年3月期 140,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	50.00	—	60.00	110.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の期末配当金及び2023年3月期(予想)の期末配当金には、それぞれ特別配当10円が含まれております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	3.8	17,600	8.2	18,200	3.7	13,000	6.0	234.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	56,419,000 株	2022年3月期	56,419,000 株
2023年3月期1Q	869,315 株	2022年3月期	928,881 株
2023年3月期1Q	55,503,738 株	2022年3月期1Q	55,653,217 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が緩和され持ち直しの動きが見られたものの、原材料価格の高騰や急速な円安の進行、ウクライナ情勢の長期化などが懸念されるなか、景気回復は足踏み状態が続きました。

当社グループの係わる電設資材業界は、建築着工や企業の設備投資がコロナ禍前の水準に戻りつつあるなど回復基調となりました。また、自社製品の係わる空調業界は、半導体不足や中国のロックダウン等による供給制約などからルームエアコンの出荷（国内285万台 前年同期比16.4%減）は伸び悩みました。

このような情勢のなか、当社グループは中長期的な経営戦略に沿って、重点施策を着実に推進するとともに、積極的な営業活動を展開しました。

その結果、売上高は678億41百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は44億24百万円（前年同期比24.8%増）、経常利益は55億37百万円（前年同期比43.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は38億42百万円（前年同期比42.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<電設資材事業>

銅価格等の高騰により電線ケーブル類をはじめ多くの電設資材の販売価格が上昇したほか、半導体不足等による供給面の制約を受けたものの、首都圏再開発や製造業の設備更新などの大型物件向けに防災設備や受配電設備等の納入があった結果、売上高390億99百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

<産業機器事業>

旺盛なデジタル関連需要や自動車業界のEV関連投資などの拡大を背景に半導体関連向けの販売が好調であったほか、製造業を中心とした設備投資が堅調に推移したことにより、制御機器及び電子部品の販売が増加した結果、売上高89億37百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

<自社製品事業>

原材料価格の高騰を受け幅広い製品において価格改定を実施したほか、ルームエアコンの出荷は伸び悩んだものの、首都圏を中心とした大型物件向けの納入があったことなどから被覆銅管や空調配管化粧カバー「スリムダクトシリーズ」の販売が底堅く推移した結果、売上高198億4百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、現時点において2022年5月13日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,568	75,535
受取手形、売掛金及び契約資産	72,626	56,389
電子記録債権	23,133	29,200
商品及び製品	14,610	18,902
仕掛品	298	358
原材料及び貯蔵品	2,370	3,083
その他	1,754	1,198
流動資産合計	192,363	184,669
固定資産		
有形固定資産		
土地	14,105	14,110
その他(純額)	7,463	7,734
有形固定資産合計	21,569	21,845
無形固定資産	1,462	1,476
投資その他の資産		
投資有価証券	16,993	17,164
その他	3,033	3,220
貸倒引当金	△0	△7
投資その他の資産合計	20,025	20,378
固定資産合計	43,056	43,699
資産合計	235,420	228,369
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	5,603	6,265
買掛金	68,705	60,811
短期借入金	343	368
未払法人税等	4,271	2,157
賞与引当金	5,623	7,038
役員賞与引当金	94	—
製品保証引当金	93	93
その他	4,009	3,978
流動負債合計	88,744	80,713
固定負債		
退職給付に係る負債	54	57
その他	5,368	5,457
固定負債合計	5,423	5,514
負債合計	94,167	86,228

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,962	13,962
資本剰余金	14,171	14,171
利益剰余金	109,361	109,851
自己株式	△2,413	△2,258
株主資本合計	135,082	135,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,105	5,134
為替換算調整勘定	297	483
その他の包括利益累計額合計	5,403	5,618
新株予約権	766	794
純資産合計	141,253	142,140
負債純資産合計	235,420	228,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	62,693	67,841
売上原価	51,537	55,072
売上総利益	11,156	12,769
販売費及び一般管理費	7,611	8,345
営業利益	3,544	4,424
営業外収益		
受取利息	11	12
受取配当金	251	416
為替差益	16	361
その他	55	340
営業外収益合計	335	1,130
営業外費用		
支払利息	4	2
その他	21	14
営業外費用合計	25	17
経常利益	3,854	5,537
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	0	3
固定資産売却損	0	0
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	3,854	5,536
法人税、住民税及び事業税	1,429	1,945
法人税等調整額	△270	△251
法人税等合計	1,158	1,694
四半期純利益	2,695	3,842
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,695	3,842

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）
四半期純利益	2,695	3,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△295	28
為替換算調整勘定	18	186
その他の包括利益合計	△276	214
四半期包括利益	2,418	4,057

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額 (注) 2
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,472	7,860	17,361	62,693	-	62,693
セグメント間の内部売上高 又は振替高	608	186	1,129	1,924	△1,924	-
計	38,081	8,046	18,490	64,618	△1,924	62,693
セグメント利益	657	294	3,742	4,694	△840	3,854

(注) 1. セグメント利益の調整額△840百万円には、セグメント間取引消去23百万円、報告セグメントに配分していない全社損益△556百万円及びその他の調整額△308百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない売上原価、一般管理費及び営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額 (注) 2
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,099	8,937	19,804	67,841	-	67,841
セグメント間の内部売上高 又は振替高	507	257	1,355	2,120	△2,120	-
計	39,607	9,194	21,159	69,962	△2,120	67,841
セグメント利益	876	403	4,695	5,976	△439	5,536

(注) 1. セグメント利益の調整額△439百万円には、セグメント間取引消去22百万円、報告セグメントに配分していない全社損益△259百万円及びその他の調整額△201百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない売上原価、一般管理費及び営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。